

第 10 回臨時委員会会議録

教 育 長) 開会宣言

教 育 長) 会議成立の宣言

教 育 長) 会議録署名委員の指名（芳村委員）

教 育 長) それでは、審議に入ります。

はじめに、日程第 1、報告第 3 号「令和 8 年度全国学力学習
状況調査の報告について」を議題とします。

提案説明を求めます。

学校教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

森 川 委 員) 基本的なところですが、今回のこの調査結果はこのままホームページに掲載される予定でしょうか。

学校教育課長) そうです、そのまま載せます。

森 川 委 員) そうすると、少し分かりにくいように思われる箇所が幾つかあります。例えば、2 ページの 4 「本市の各教科の調査結果の概要」という表の下、この表の読み方についての説明として、「全国比較について」と書いていただいているのですが、全国比較がこの表だと 3 つぐらいあり、よく読めば分かるのですが、一目見てちょっと分かりにくいように思いました。例えば、全国比較の前に米印などをつけていただいて、米印①として、どの部分を説明しているのかとしていただいたほうがいいのではないかと思います。

米印②、英語の「話すこと」の調査結果については提供されていない、英語の右上の部分の説明だと思うのですが、そこが

分かる形でリンクしていただいたらいいのではと思いました。

去年までだと2つぐらいしか説明項目がなかったのですが、今年は説明項目が多いので、少し整理いただいたほうが良いのではと思いました。

あと、気になるところとしては、8ページの7「児童生徒の生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査結果（全項目）」と書いていただいているのですが、番号を見ると全項目になっていないように思われるところです。

学校教育担当部長） 18がないですね。

学校教育課長） 本当ですね、すみません。

森川委員） 9ページの17の次、18、19が飛んでいたりするような気がしています。全項目なのか、どうなのか。読書が好きかどうかの質問事項もあると思いますが、それが抜けているように思われます。

学校教育課長） 確認します。

森川委員） もし17から19を省かれるのだったら、「全項目」という記載は取っていただいたほうが、「抜粋」などにさせていただいたほうがいいのかと思いました。

三宅委員） 先ほど学校教育課長がおっしゃったように、令和6年、7年と上がってきていて、今年が横ばい、もしくは下がっていて、なぜなのかと私もちょっと残念に思っていたのですが、令和5年と比べると上だったり、同じぐらいだったので、始めたときよりは数字はいいということですね。

だけど、私が実際、潮見中学校の運動会や学校訪問をしたときに学校が変わってきているなと感じていて。中学校がどうな

のかを見てみたのです。例えば、10ページの36-3「ICT機器を使って情報を整理することができると思いますか」は、去年66.6だったところが75.4に上がっていますし、11ページの43番「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。どちらかといえばできた。」も、73.1から85.9に上がっていたり、44番「授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり活かしたりすることができる」も73.9から81.1に、45番「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思う」も73.2から82.9に上がっています。それだけではなくて、12ページの60番、61番、62番、13ページの63番、64番、65番、66番、67番も中学校は全て数字が上がっているのです。

やっぱり見ていて変わってきているなと思っていたところでこのように数字は上がっているので、引き続き、この感じを取り組んでいくのがいいなと思って見ていました。

あと、7ページの6、最初の4つは自分自身に関するのですが、自分自身に関する事「自分にはよいところがあると思う」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」「将来の夢や目標を持っている」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」は、学校でもそうですし、家庭でもそうですし、あと、地域で地域の方とも関わることで、応援してくれる地域の方がいると、また、ここは変わってくると思うのです。

その中で学校運営協議会は、学校と地域の人と子どもたちを

つなげられる場だと思っています。運営協議会のメンバーの方たちにこれを知ってもらって、子どもたちが自分自身に関することを、もうちょっといいように思えるようにしていきましようということを目標にして、地域の方がメンバーの運営協議会で何かやっていくのもいいのかなと思いました。

なぜそう思ったかという、山手小学校で私の夫が運営協議会に参加していきまして、この間、先輩に話を聞く「ようこそ先輩」というイベントをしたときに、子どもから感想をもらいました。その感想を読ませてもらうと、その中に「三宅さんは僕たちに笑顔で楽しそうに質問を聞いていただき、ありがとうございます。三宅さんの幸せについてなど、様々な自身の意見や楽しさについて僕らに聞かせていただき、不安で満たされていた僕の心を勇気で満たしていただき、ありがとうございます」と、こんなお手紙をくれました。

人と触れれば触れるほど、地域の方が何かできることは増えてくるのかなと思います。これを読んだときに、こんなことを言ってもらってうれしいなと思ったのですが、それよりも、子どもの心が、不安から勇気で満たされて良かったなと思って見えていたので、今回この自分自身に関する結果を見て、運営協議会が学校とのつなぎ役、学校が中心となって運営協議会で地域の人に入ってきてもらって、そこで何かできたらいいなと思いました。

言うことは簡単ですが、やることはなかなか難しいと思うのですが。

学校教育課長) 運営協議会の研修も夏休みにさせてもらったところですので、

そこを活かして、いろいろな学校の取組をあの場でも共有していただいたと思います。それを活かして、自分の学校でも、運営協議会の中で地域と連携しながら、子どもたちに最適なことで何ができるか、地域の課題と学校の学びをつなげながら、自分の地域だという実感を持ちながら、この地域が自分の地域だという形でいろいろな人と関われることも大事なのかなと、私もあのときは学びました。

三宅委員) 運営協議会の人がこの結果を見ることはあるのですか。

学校教育課長) これは芦屋市全体の結果になりますので、公表されていますし、ホームページから見ることができます。学校で2回目の学校運営協議会を2学期ぐらいいよくやるのですが、そのときに学校の実情です、こういう形です、と学校の結果をお見せすることはされていると思います。

三宅委員) ではそのときに、地域の運営協議会の方にこの結果をお伝えして、子どもたちが夢を持てたり、違う意見を考えることが楽しいと思えたり、自分にはよいところがあると思えるように、一緒に育てて行きましょう、そういう意識で、この地域を学校中心に盛り上げましょうというアピールをするのが大事かなとも思います。

教 育 長) 学校には、もう情報を下ろしているのですか。

学校教育課長) 教育委員会にまず報告させてもらった後に、校園長会でお示ししています。

学校は自分の学校での結果を持っていますので、それを分析しながら、市の分析とあわせて、保護者へお知らせします。

教 育 長) 知らせるようになっているのですね。

学校教育課長) そうです。学校だよりなどでお知らせします。

教 育 長) 10月の学校だよりですね。

学校教育課長) はい。

教 育 長) 学校ごとに公表する際、学校運営協議会でも分析内容をし
っかり共有することはすごく大事なことだと思いますね。

学校教育課長) はい。

教 育 長) そういう意味では、どの学校でも見てほしいところとして、
もちろん学力もですが、質問の中で地域の行事に参加するところ
はなかったですか。

学校教育担当部長) 以前はありました。

教 育 長) 33番は、「よくしたい」と思っているという感じですね。
これは低いのですね。多分、学校によって高い学校があるかも
しれませんが、市全体としては全国比からすると低いので、こ
こを学校だけでできるのかどうかを、地域の人と地域課題とし
て一緒に考えることは、まさに大事なことで。それが、恐らく
39番の、よく総合学習が、低学年で言えば生活科で、小学校
3年生から中学校へ行くと総合的な学習の時間が、自ら課題解
決に向かうところが、まさに地域の人が必要な課題を持ってい
ますということと一緒に学習することも1つ当てはまっていき
ますし。

その解決の仕方やプロセスが、ほかの各教科に応用されて
いくところが結局すごく大事なところなのかなと思っています
す。これも全国からすると、やや低い傾向にあります。これ
は今度、探究が軸となってくるので、すごく大事なところにな
ってくるのかなと思います。これを地域の人と共有すると、

卒業生の先輩から学び方を学ぶことにつながるでしょう。そこは、教育委員会がハブになっている感じかなと思います。

人の役に立つ人間になりたいけど、地域や社会をよくするために何かしたいのは低いです。このバランスの悪さが気になるところではあります。

森 川 委 員) 15 ページの表で、「普段、1 日当たりどれくらいの時間、スマートフォン等で SNS や動画視聴などをしますか」という表について、結果で「4 時間以上」が中学生で 22.2% であったり、3 時間以上や 2 時間以上という結構な割合になっています。全国よりは低いですが、結構多いような印象がありますが、この点はいかがでしょう。

学校教育課長) 本当に、一方で「勉強しています」とかもすごく高いのが芦屋だなと思うのですが。全国的にスマートフォンとの付き合い方みたいところは、本当に問題になっています。

その中で、情報モラル教育など、実際にはこういう形で、今までは「危ないですよ、何かとつながったら危ないですよ」とか、SNS 系のことが多かったのですが、本当に垂れ流すように見ることがすごく危ないと分かってきたので、その辺りは教育の中にも入れていかないといけないなと思っています。

今も、スマートフォンの使い方の中では、警察が来て、SNS は危ないというものが多いです。そちらの安全のほう为学校としては先に指導しなければいけないとなるので。ただ一方では、何もせず、垂れ流すようにスマートフォンを見ることも脳には悪いという話があるので、その辺りは学校と連携しながら、考えていかないといけないかなと思います。

芳 村 委 員) 今の話と続くかと思いますが、資料で、P C だったり、スマートフォンだったり、利用している時間は長いですが、最後のページ「機器を使用して、英語の音声を聞いたり、英語を話す練習をしたりしていますか」が、ほぼ行っていないことがすごく残念なので、使い方が大事だなと思います。あと、その前のページの「新聞をどれくらい読んでいますか」は「ほとんど、または全く読まない」が多いです。

子どもに聞くと、スマホで流れてくるヤフーニュースなどでニュースは見ているから大丈夫とか言うのですが、そのニュースと新聞から得るものは違うと思うので、そこがもっとうまく子どもたちに伝えられないか、この資料を見るとすごく残念だなという感じがします。

学校教育課長) 実際に、書道の時間に「新聞を持ってきて」と伝えても最近では持ってこられないご家庭が増えているように思います。

教 育 長) だんだんご家庭で新聞を取らなくなっていますね。

学校教育課長) はい。親の感覚としても、新聞以外にもいろいろなメディアはあるので、そっちで情報を入手するという家庭は多いです。新聞は学校からも貸すというか、あげるというイメージが強い形にはなってきてしまっていることはあります。

ただ、学校は新聞を取っていますので、その新聞を使いながら、図書室に置いたり、皆が集まるロビーに掲示したりしています。そういう形で目に触れて、触ってもらえる形にはしてはいます。

最後のページで、何かの研修で聞いたことがあるのですが、子どもは、すごく機器に対してはフレンドリーというか、身近

なものとして捉えているのですが、それを学習で使わないことが日本の特徴だと聞いたことがあります。本当にこの調査の結果どおり、機器にはすごく親しんでいるのですが、それを勉強で使っていることがあまりないです。

今、A I が出てきましたので、その点 A I をうまく使ってという形ですが、その A I も答えを教えてしまうとあまり意味がないと思っています。その辺りの兼ね合いもすごく難しいです。ぱっと見たらどうしても答えが見えてしまうので、考える力をどう育成するかのも兼ね合いもあり、すごく難しいところだと思っていますところではあります。

機器をうまく利用して、自分の力を高められるようになってくれたらいいなと思います。まだ、研究中という感じです。

教 育 長) 25 ページ、今、芳村委員が言われたところは、学習状況調査を通して、国としてのメッセージでもあると思います。

「こういう実態ですよ」といったときに、どんなふうにこれを読み解いて、だから、国的には、新聞を読まないでいいと思っていたら質問で事実を出さないと思います。

N I E (Newspaper in Education) で、特に、中学校などでは大体中 2 ぐらいの単元で記者のかたに学校に来てもらって、記者のかたがどんなふうに記事を書いているか、あとは小見出しに言葉や引きをつくる場所などでは勉強になります。逆に、コラムで 200 字にまとめることも結構な思考を要するというか、A I は簡単にやるかもしれませんが、当たり障りなく A I が作成したものをコピー&ペーストするのか、自分の言葉を絞り出していくのか、新聞ではこの点がすごく学べる場所なの

かなと。あとは読み比べというか、同じ事象でもいろんな新聞社の記事を比べて読んで、自分は思うか、それはすごく大事なところなので。

そういうメッセージが30番の質問には隠されていて、それを各校がどんなふうにこれを活用するかということかなと思います。

学校によっては、多分、岩園小などはずば抜けているかもしれないですし、よく読んでいるかもしれないです。ちょっとしたことですが、配架の仕方とか、図書の授業の初めに新聞を読んでいるかもしれないので。

精中もエントランスに新聞を置いているでしょう。あそこでちょっと見るようになっているのです。新聞って割と生活的なところがあるので、授業で読むとかではなくて、習慣的な部分があるから。そういうものを誘っている質問だろうと思っているのですが。

森 川 委 員) 21ページから24ページにかけて、本に関することがあります。これを見ますと、読書をする時間などは全国平均と大体同じような感じで、中学校だったら、21ページだと「全くしない」が一番多かったりするのですが。

今年の調査結果では分らないですが、去年の調査結果だと、「読書が好き」という割合は、芦屋市は結構高いように思われます。中学生でも、去年だったら「どちらかと言えば好き」も入れてですが、62.5%と書いてあります。好きだけど読書をしていないのは忙しいからなのか何なのか、ちょっと分からないなと思うところですが、この点いかがでしょうか。

学校教育課長) 「読書が好き」「どちらかといえば好き」は小学校が80%ぐらい去年はありまして、全国平均は70%ぐらいでした。中学校も平均よりは上だったと思います。6年生がやっていることで、20ページと18ページ「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」が芦屋市はすごく特徴的で、小学校では「3時間以上」が突出しており、とても高いです。私も実際現場にいたときには、本を読みたい子どもは休み時間にずっと読んでいました。家に帰って読めないということはあったのはありました。

ただ、それまでにずっと本をたくさん読んできたこともあったりするので、好きという感覚は残っているのではないかとすごく思います。勉強も大事ですし、本が好きという気持ちや本を読むことも大事なので、一概にどうとは言えないですが、子どもの時間が、特に小学校6年生と中学校3年生の時間はすごくタイトなところがあるのかなと思ってはいます。

学校教育担当部長) 補足ですが、今年の質問紙が、「『読書が好き』と『読書が役に立つ』のどちらか選んで答えなさい」という問題になってしまっているので、データが出ていないのです。今年、抜けている部分は、実は3つぐらい項目があって、どれかに答えるというような質問の仕方をしているので、残念ながら結果が出てこないです。

小学校の場合は、朝に読書時間を取っている学校が多いので、本に触れる時間は割とあると思ってはいるのですが、先ほど学校教育課長が言ったように、家に帰って読む時間が取りにくいのではないかと思います。今回はそういう質問紙になってしま

っています。

森 川 委 員) ありがとうございます。

教 育 長) そういう意味では、例えば中学校などでは、本などを読むことは受験と関係なさそうみたいな感じになりますが、本とか新聞は時事問題と関係があったり、発想を豊かにする部分があったりするので、学校の分析次第で、学習指導要領が学校裁量というのなら、思い切って週 1 時間、中学校で読書の時間をこれからつくってもいいかもしれません。1 年かけて自己探求で、好きな本を読んでください、みたいなものもいいかもしれないと思います。

学校教育課長) 授業では評価が必要になると思いますので、それをどう測るかが課題ですね。

教 育 長) 発想を豊かに。1 つのアイデアとして。

学校教育課長) そうですね。

教 育 長) 他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打ち切ります。

それでは、報告第 3 号「令和 8 年度全国学力学習状況調査の報告について」の報告を受けたものといたします。

教 育 長) 閉会宣言